

# 日本陸水学会甲信越支部会

## 第 48 回研究発表会プログラム

2022 年 12 月 3 日(土)

Web 開催 新潟薬科大学

〒956-8603 新潟市秋葉区東島 265-1 新潟薬科大学

TEL: 0250-25-5161 HP: <https://www.nupals.ac.jp/>

大会実行委員長: 小瀬知洋

要旨集作成(庶務幹事): 芹澤如比古

会長: 朴虎東

### 日 程

月 日	時間	行事等
12月3日(土)	8:50- 9:00	開会挨拶(副会長:志賀先生)
	9:00-10:00	口頭発表4題(1)O-01~O-04 <sup>1)</sup>
	10:00-10:15	休憩・時間調整
	10:15-11:15	口頭発表4題(2)O-05~O-08 <sup>1)</sup>
	11:15-11:30	休憩・時間調整
	11:30-12:00	ポスター予告P-01~P-06 <sup>2)</sup>
	12:00-13:00	昼食・時間調整
	13:00-14:15	口頭発表5題(3)O-09~O-13 <sup>1)</sup>
	14:15-14:30	休憩・時間調整
	14:30-15:30	ポスターセッションP-01~P-06 <sup>2)</sup>
	15:30-15:45	発表審査
	15:45-16:00	閉会挨拶・発表賞表彰 (会長:朴先生)
	16:00-16:30	幹事会
	16:30-17:00	総会

1)口頭発表は、Zoom の画面共有で行います(方法は各研究室にお任せしますが、PowerPoint のスライドショーを画面共有する方法が最もスムーズかと思います)。別添の発表マニュアルを参考に当日までに Zoom クライアントのインストール、音声マイク、回線などを整えた発表環境を各自でご準備ください。1 人発表時間 10 分、質疑 4 分、交代時間 1 分の合計 15 分です。時間厳守をお願いします。

2)ポスター発表者は、発表プログラム内のポスター予告時(11:30-12:00)に 1 人発表時間 4 分+交代時間 1 分で口頭発表と同じ方式で研究概要を紹介してください。時間厳守をお願いします。また、別添の発表マニュアルを参考に 12/1 (木)までに、ポスターファイル(PDF)を下記の URL から提出してください。

<https://www.dropbox.com/request/nuCyY0buV36pMTfMaAX5>

その際に必ずファイル名を P-01\_小瀬知洋.pdf のようにしてください。併せて、ポスター予告とポスター発表用に Zoom クライアントのインストール、音声マイク、回線などを整えた発表環境を各自でご準備ください。ポスター発表時(14:30-15:30)は Zoom のブレイクアウトセッションを使用し、ポスター毎にルームを作成して行います。ポスタールームでの質疑応答は音声会議で行いますが、ポスター内で使用した図表を個別に張り付けたスライドファイルなどをご準備いただき、適宜、画面共有していただけると、議論が深まると思います。

## 発表プログラム

8:50-9:00

開会の言葉： 志賀隆 副会長

**口頭発表 4 題(1)** 座長： 山梨大学 芹澤如比古

9:00-9:15 O-01

野尻湖における周辺地域の風に関する時空間特性と数値実験による循環期の流動特性把握

○重松直樹・豊田政史

(信州大学大学院総合理工学研究科修士課程1年)

9:15-9:30 O-02

富山県氷見市のオニバス再生に向けた水質調査と流水シミュレーション

○中田成星・呉修一

(富山県立大学工学部4年)

9:30-9:45 O-03

木崎湖における水草の分布に影響を及ぼす環境要因

○斉藤諒・宮原裕一

(信州大学理学部4年)

9:45-10:00 O-04

標本作製処理が水生・湿生植物の種子生存に与える影響

○田中美優・平澤優輝・加藤将・佐藤妙子・志賀隆

(新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程1年)

10:00-10:15 休憩・時間調整

**口頭発表 4 題(2)** 座長： 信州大学 宮原裕一

10:15-10:30 O-05

シダ植物標本胞子の染色による生存識別法の開発と発芽可能性の評価

○石黒皓大・加藤将・志賀隆

(新潟大学教育学部4年)

10:30-10:45 O-06

諏訪湖由来の水草マツモと有毒藍藻間におけるアレロパシー現象の検証

○岸田龍大・土屋俊雄・朴虎東

(信州大学大学院総合理工学研究科修士課程1年)

10:45-11:00 O-07

日本産糸状藍藻 *Cuspidothrix issatschenkoi* を用いた神経毒 Anatoxin-a 生産特性の解明

○杉山大悟・楊詩・二木功子・朴虎東

(信州大学大学院総合理工学研究科修士課程1年)

11:00-11:15 O-08

トイレ利用調査と処理水質評価に基づく単独浄化槽浄化能力の実態把握

○中野友裕・西川文野・亀井樹  
(山梨大学生命環境学部 4 年)

11:15-11:30 休憩・時間調整

**ポスター予告 6 題** 座長：信州大学 豊田政史

11:30-12:00 P-01~P-06

各 5 分(発表時間 4 分+交代時間 1 分)

12:00-13:00 昼食・時間調整

**口頭発表 5 題(3)** 座長：信州大学 朴虎東

13:00-13:15 O-09

湖沼底質におけるペリレンの動態解明

○中西未来・宮原裕一  
(信州大学理学部 4 年)

13:15-13:30 O-10

Nile Red を用いた環境中マイクロプラスチックの分析方法の開発と応用

○塔川岳大・宮原裕一  
(信州大学理学部 4 年)

13:30-13:45 O-11

Cu とフサカ幼虫によるミジンコ個体群への影響

○神戸一喜・坂本正樹  
(富山県立大学工学部 4 年)

13:45-14:00 O-12

餌の量と質によるミジンコの生活史特性とろ過スクリーン面積への影響

○米山貴将・大島功基・坂本正樹  
(富山県立大学工学部 4 年)

14:00-14:15 O-13

殺虫剤と Cu によるミジンコの防御形態への影響

○田中涼介・坂本正樹  
(富山県立大学工学部 4 年)

14:15-14:30 休憩・時間調整

## ポスター発表

14:30～15:30

**P-01 長野県霧ヶ峰高原の繁殖期の出現鳥類に影響する要因**

○井川洋・笠原里恵

(信州大学大学院総合理工学研究科修士課程 2 年)

**P-02 湖水中のプラスチックによるPAHs 収着の変動要因と収着PAHs 起源**

○吉田暁人・宮原裕一

(信州大学大学院総合理工学研究科修士課程 2 年)

**P-03 オニグルミの根から滲出されるアレロパシー物質の季節変動及びアオコ制御可能性について**

○臼山潤・朴虎東

(信州大学大学院総合理工学研究科修士課程 2 年)

**P-04 水中振動発生装置を用いた藍藻 *Microcystis aeruginosa* の制御方法の開発**

○永峯亮弥・二木功子・朴虎東

(信州大学大学院総合理工学研究科修士課程 2 年)

**P-05 日本産ヒメタヌキモ(タヌキモ科)の形態形質と遺伝的変異**

○鈴木朋弘・加藤将・志賀隆

(新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程 2 年)

**P-06\* 水素ガス添加脱窒リアクター内のポリヒドロキシアルカン酸生成に関する諸検討**

○亀井樹, Suphatchai Rujakom, 風間ふたば

(山梨大学国際流域環境研究センター)

15:30-15:45

## 発表審査

15:45-16:00

閉会の言葉・優秀口頭発表賞・優秀ポスター発表賞表彰: 朴虎東 会長

16:00-16:30

## 幹事会

16:30-17:00

## 総会

注)講演番号右肩の星印は発表賞選考の対象外です。